

# プラチナ未来人財育成塾

参加報告

## たくさんの学びがあった研修

七城中学校2年 工 賢 さん



僕はこの七日間の研修の中で沢山の初めての体験をし、多くの新しい発見をすることが出来ました。初めて体験したこととは大きく分けて二つあります。

まず、一つ目は飛行機に乗る機会を得たことです。空港の搭乗口での荷物検査では、友達に方法を教わりながら、ドキドキしながらも無事に終えることが出来ました。今までテレビで見るだけだった検査を実際に体験することで、その大変さを感じると同時に、こういった検査・確認のおかげで安全が守られているということも再認識させられました。

二つ目の初めての体験はこの研修で初めて知り合った仲間達と、親元を離れ、共同生活を行ったことです。元々僕はあまり口数が多いほうではないので、初めての友達と仲良くなれるのが不安もありました。だけど、講義を通して意見を交換したり、一緒に寝食を共にすることで、沢山の話しをするうちに打ちとけ、楽しい充実した時間を過ごすことが出来ました。

僕がこの研修で体験して気づいたことを一日目から順を追って振り返っていきます。

一日目、菊池市から参加する五名のメンバーと共に東京へ出発。初めて見た大都会の建物や人混みに圧倒されました。

二日目、午前中は菊池市のメンバーで東京観光を行いました。初めて見るスカイツリーは想像以上に迫力がありまして、ソラマチを歩いたり、浅草寺でおみくじを引いたり、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

三日目、柏の葉スマートシティを見学しました。太陽光電池などの再生可能エネルギーで発電をたくさん行っていたり、その電力や夜間に供給される電気を蓄電して、非常時や足りなくなったときに供給したりする電力管理が行われている、新しいビジネスを生み出すための環境づくりがされていて、世界があいいう風になっていくといいなあと思いました。

四日目、福島県会津若松市へ移動しました。移動するバスでは友達との話が楽しく、長かったはずの移動時間があっという間に感じられました。その後、永山先生の講義を聞きました。永山先生は、医療の事を通して様々な事を伝えて下さいました。例えば、優れたリーダーは勤勉さ、前向き、正直、親切を兼ね備えているということや、日本の文化・歴史と異文化に対する興味・理解を大切にしようということをおっしゃっていました。

僕は、その中でも「人前で自分の意見を表明する習慣・訓練をして下さい」という言葉が心に残っています。

五日目、まず未来の自分についてのグループワークを行いました。これまで、あまり具体的には考えていなかった自分の将来の夢や人の将来について、皆で一緒に考えました。このグループワークのおかげで具体的な夢を考えることが出来ました。徳川先生は子供時代の戦争の話や日本文化の素晴らしさなどについて、話して下さいました。その中でも「日本を知るために出来るだけ海外に出て下さい」という言葉が心に残っています。

六日目、次の一步を考えるグループワークを行いました。五日目に決めた夢を実現するために必要なこと、また、その必要なことを育てるために行うべきことを考えました。皆がいろいろなアドバイスしてくれたので、しっかりとそれらを意識しながら、これからの生活の中で実践していきたいです。中竹先生の講義は、双方向の対話型で、僕達が考える場面も多くあり、楽しく参加出来ました。

七日目、日新館の建物を回り、講話を聞きました。すごいと思ったのは、古くからこういう教育の施設を立ち上げられたことです。その時代の方達の考え方の素晴らしさも感じる事が出来ました。

八日目、グループで自分の将来について発表をしました。自分が伝えたいことをはっきり伝えることが出来、良かったです。小泉先生の講義では、質疑応答の形式をとられました。僕も一生懸命考えて質問しました。一日目に出来なかったことだったので、出来たことは僕の成長だと思えます。僕の中では「自分の限界を自分で決めない」という言葉が心に残っています。この言葉を忘れずに、自分自身の可能性を信じて何事にも精一杯、取り組んでいきたいです。

この研修を振り返った時に、今の僕を成長させてくれたいくつもの大切な言葉がありました。この研修で感じたこと、考えたことを今後の生活の中でしっかりと意識しながら過ごしていきたいと思えます。

※作文は抜粋しています。

# 第12回 夫婦の手紙・絵手紙 コンクール表彰式

「第12回夫婦の手紙・絵手紙コンクール」の表彰式が11月22日(いい夫婦の日)、菊池夢美術館で行われました。このコンクールは、本市のイメージづくりの一環として平成17年にスタート。

今回は全国各地から手紙の部に68点、絵手紙の部に138点の応募がありました。



夫婦の絵手紙 最優秀賞作品  
小崎洋子さん(熊本市)



優秀賞を受賞した一ノ瀬まゆみさん(夫妻)と江頭市長から賞状と目録が贈られました

表彰式では、13人の受賞者に賞状と副賞が手渡されました。受賞者を代表して夫婦の手紙優秀賞の一ノ瀬まゆみさん(山鹿市)が、夫に宛てた手紙を朗読。会場からは大きな拍手が送られました。

今回応募された全作品は、1月15日(日)まで菊池夢美術館に展示しています。ぜひご覧ください。

### 夫婦の手紙 優秀賞作品

一ノ瀬まゆみさん

純	二	さん	！	や	っ	と	四	十	回	目	の	結	婚	記	念	日	を	
迎	え	ら	れ	た	ね	。	三	人	の	子	宝	に	恵	ま	れ	幸	せ	だ
た	け	ど	、	二	十	一	年	前	の	事	故	。	た	け	し	が	心	
作	で	倒	れ	、	植	物	人	間	に	な	る	か	も	知	れ	な	い	
げ	ら	れ	た	あ	の	日	。	悲	し	み	の	ど	ん	底	に	突	き	
さ	れ	苦	し	か	っ	た	ね	。	記	憶	が	出	来	な	い	後	遺	
高	次	脳	機	能	障	碍	と	の	戦	い	の	始	まり	。	変	わ	り	
は	て	た	子	供	を	見	せ	た	く	な	い	。	現	実	を	受	入	
れ	な	か	っ	た	私	。	そ	ん	な	時	あ	な	た	が	掛	け	て	
た	言	葉	。	「	親	が	先	に	逝	く	と	だ	け	ん	、	外	に	
て	周	り	の	人	に	病	気	の	事	を	知	っ	て	も	ら	わ	な	
と	。	私	も	頭	で	は	理	解	し	て	い	た	つ	も	り	、	で	
動	に	移	せ	な	か	っ	た	。	あ	な	た	の	一	押	し	で	前	
く	こ	と	が	出	来	た	よ	。	リ	ハ	ビ	リ	の	一	環	で	始	
カ	ラ	オ	ケ	通	い	、	そ	し	て	歌	の	活	動	。	ま	さ	か	
代	座	で	十	周	年	記	念	コ	ン	サ	ー	ト	！	な	ん	と	嬉	
親	孝	行	を	。	周	り	の	人	と	ち	よ	っ	と	違	う	人	生	
知	れ	な	い	け	ど	、	お	陰	様	で	心	豊	か	に	、	特	別	
々	を	過	ご	さ	せ	て	も	ら	っ	て	い	ま	す	。	こ	れ	か	
よ	ろ	し	く	ね	。	そ	し	て	あ	り	が	と	う	。				